

令和4年度 第2回恵那市スポーツ推進審議会 議事録

1. 開催日時

令和5年3月14日（金） 午前10時00分～午前11時45分

2. 開催場所

恵那市消防防災センター3階 防災研修室

3. 出席委員

恵那市スポーツ推進委員連絡協議会 会長	三宅 祥市
中部大学生命健康科学部スポーツ保健医療学科 教授	酒井 俊郎
中京学院大学経営学部 中京学院大学経営学部専任講師	横谷 淳
恵那市地域自治区会長会議 飯地地域自治区会長	瀬瀬 佳恭
株式会社アクトス 管理部長	磯村 信雄
恵那市医療福祉部 部長	加藤 真治
公益財団法人恵那市体育連盟 会長	山本 好作
恵那市小中学校校長会 岩邑中学校 校長	丸山 成之
恵那市こども園長会 大井こども園長	安藤 美香子

4. 欠席委員

恵那市障害者団体連絡協議会 会長	三宅 弘文
恵那市教育委員会 副教育長	西尾 朋子

5. 議事次第

- (1) あいさつ
- (2) 会議の公開、公表について
- (3) 議題
 - 議題1 スポーツ推進計画後期計画の進捗状況について
 - 議題2 部活動地域移行に係る補助金の交付について
- (4) 報告
 - 報告1 オリンピアンによるスケート教室及びトークショーの開催について
 - 報告2 市内在住スポーツ選手の活躍について
 - 報告3 公共施設予約システムの導入について
 - 報告4 令和5年度の主な取り組みについて
- (5) その他
 - 恵那市こども園幼児の体力・運動能力の推移について（酒井先生）
- (6) 閉会の挨拶

6. 議事要旨

(1) あいさつ	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ今より、令和4年度第2回恵那市スポーツ推進審議会を開催させていただきます。本日の進行を務めさせていただきますスポーツ課長の服藤と申します。よろしくお願いいたします。会につきましては、令和4年度のまとめになりますが、効率的な進行に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。まず初めに、三宅会長よりご挨拶をお願いいたします。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・おはようございます。だいぶ気候も良くなってきて、梅も満開の状態になっております。花粉症があって嫌な季節ですけれども、途中でくしゃみが出たらご勘弁いただいて進めさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。簡単ではございますけど、挨拶に代えさせていただきます。
(2) 会議の公開、公表について	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の公開、公表につきましてご説明いたします。恵那市教育委員会の会議の公開に関する要綱第3条の規定により、会議は原則公開となっております。前回の会議にて公開の承認をいただいております。よって本日の審議会の議事録等は、市のウェブサイトにて公開をしますのでよろしくお願いいたします。
(3) 議題	
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは議題に沿って進めさせていただきます。議題1 スポーツ推進計画後期計画の進捗状況について、事務局をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・議題1「スポーツ推進計画後期計画の進捗状況について」説明
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・読み取り方を教えていただきたいのですが、A3の横の大きな表で指標という欄がありますが、指標というのは平成26年度が実績ですよ。令和2年という数字が書いてあるところがありますけれども、これは実績ですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、実績でございます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度がすでに出てきてないといけないと思うのですが、なぜ令和3年がここに出てないのですか。令和3年は一昨年3月ですよ。この数字がわからないのですか。それとも調べる予定がなかったのですか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらにつきましては、データを作る時に5年ごとに大きな数字を掴んでおりますので、次に大きなデータを掴むのが令和7年になります。その中で、毎年掴んでおるのが子供のスポーツ実施率、こちらは毎年掴んでおりますので第1回の会議でご紹介させていただきました。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりました。それでは平成26年の数字が書いてない項目が結構あるのですが、例えば区分3のコミュニティづくりの所でイベントボランティア数の所が平成26年の数字がないですね。それから、その次の項目のスポーツ交流人口数も平成26年の数字が書いてないです。これは分からなかったということでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・恵那市の総合計画で令和2年度から管理することになりました。それに従ってスポーツ課も数字を共有しますので、新たに令和2年度から把握をして取り組むとしております。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・区分5の競技力向上の所の競技人口のところ、平成26年の数字がないですけど、これは調べれば分かってもおかしくないと思うのですが、いかがですか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・おっしゃる通りで、平成 26 年度の数字を掴んで掲載するようにしますのでよろしく願いいたします。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりました。以上です。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは議題 2 の方に移らせていただきます。事務局お願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・議題 2 「部活動地域行に係る補助金の交付について」説明
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・お聞きしたい点が 2 点ありまして、1 点目は補助額の所で、これは年に 1 年目は 10 万円ということですか。この補助額でやっていけるのか。 ・2 点目は地域クラブについてで、地域クラブの方にある程度おまかせしていくということで、指導者の確保をしていることという内容がありますけども、一番大きな問題は指導者を確保していくことが難しいと聞いていますので、指導者を確保していることではなくて、指導者を確保するために、全体の例えば教育委員会とかそういうものが、指導者を確保するための大きな手立てを講じているのか、そういう仕組みがあるのかどうかを聞きたいです。例えば、人材バンクで中から探すとか、そういった仕組みができつつあるのか聞きたいです。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・まず額の話につきましては、それぞれが学校の方に入って現状把握をした結果、ほとんどのクラブにつきましては受益者負担になっております。そこへもっていくために 3 年間で 10 万、6 万、4 万とし、4 年目以降は自走していただく仕組みを取らせていただきます。 ・指導者確保のための仕組みですが、2 つの中学校の課題があって、そこには学校側からの要請に基づきまして、保護者と地域、あと地域学校協働活動推進員、市スポーツ課と体育連盟が集まりまして、そこで協議をします。課題を共有しながら、やはり指導者の確保が課題になりますので、どうしていくかを相談させてもらいました。上矢作中学校につきましては、地域の広報で呼びかけたところ、2 人の指導者が見つかりました。 ・先ほど人材バンクというお話が出ましたけれども、その仕組みにつきましては、市の体育連盟の方でそういったものを持っていますので、競技団体としっかり連携を取りながら、人材バンクを構築していくということが 1 点目。それでもどうしても足りないということであれば、県でも広域的な人材バンクが構築される予定がありますので、そちらの方にもお願いしながら、地域にニーズに応じていきたいと考えております。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・課題は全域で、ブロック毎になっていると中々指導者を探しにくいということが出てくると思いますので、地域の指導員をやるのに遠くから持ってこようとすると、そんな額で車を 30 分も乗っていくなんて考えられないと断られることが多いものですから、そういう全域の事を考えると、この例えば 1 年間 10 万を旅費にあてるにしても、いいのかなど。基準はわかりませんが、非常に潤沢にあたえて、あとで戻入するようなパターンもいいかなと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・説明いただいた内容で概ねいいかと私も思います。 ・ただ、1 つは、指導者の確保はやはり難しく、私の勤めている岩邑中学校では保護者クラブが一応立ち上がってはいるのですが、種目によって指導者が辞められてしまっていないということで、活動ができていないところがございますので、指導者を見つけて活動をできるようにしないとけないと思っているところではございますが、同じように指導者がなかなか見つからず、教員が指導することによって、組織としては保護者クラブになってはいるのですが、部活動に近い形で、結局は教員が指導しているというところ

	<p>るもいくつかあります。それはそれで兼務申請かなにかをして地域の指導者がいることで費用弁償していただけるということであればよいのかなど。その場合に月の時間外を超えないようにという制約もあるようですので、その辺りはこれから検討していく必要があると思っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それから、補助の対象者が新たにと書いてありますが、すでに行っているところは安価な謝礼でやってくださっている方もかなりいらっしゃいますので、そういった方たちにも補助を拡充することを、今後検討していただきたいと思えます。 ・続いてになりますが、指導者は有資格者という設定にしているのか競技に関して知識や経験がない方でも大丈夫なのか、そのあたりを詰めていかしていただけるとありがたいと思っております。いろいろな支援策を考えていただいているので、ぜひ、使いやすいといえますか、皆が納得していただける形で進めさせていただけるとありがたいかなと思っております。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の質の確保のお話がありましたが、こちらにつきましては去年から県の方で指導者講習会をやっておりまして、中身につきましては、スポーツ医科学や熱中症対策などを行っており、ぜひ指導者の方にそちらのほうに行っていただいて、教育的意義をしっかりと把握していただくという認識であります。2か年くらいですべての指導者の方に行っていただくように進めさせていただきます。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・競技をやらなくても、指導者としての管理が必要だと思うので、指導者講習会に出ていただいて資格を取っていただけたらありがたいと思う。そういう責任問題もありますので、そういうものにしっかり出ていただいて、その競技を知らなくても、生徒の行動を指導していただくのが一番いいのかなと思えます。 ・上矢作中学校と串原中学校の卓球部は地域的で近い位置にあるので、休日に合同で練習する場合は、補助金はどのようになるのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・上矢作中学と串原中学で違う指導者によるクラブの概要を考えていますが、クラブの代表者が同じということであれば上限は10万円になります。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・文化庁のガイドラインですが、休日というのは、例えば、夏休みや冬休みなど長期の休みは休日としてカウントされているのですか。休みの期間中にいろんな大会があるケースがあるならば、まとめて集中的にやるというのは可能なのですか。 ・また、教員の先生の負担が多い上で、私が中学・高校の時にクラブ活動をやっている、当時の学校の先生はその競技に関して何の知識も技術もない方が多かったです。顧問という立場でたまに見に来ると感じる感じで、中学の部活は指導者によって強さが違ってきます。そういう面から行くと、大学で色々な活動をしている方や、アクトスさんのインストラクターをやっている方でこの競技に関しては詳しいという方に依頼をしたほうがいいと思えます。この報酬で人が集まるか分からないですが、そのほうが部活動の活性化という面ではいいのではないかと考えます。単純に学校の先生に時間的に余裕を持ってもらうのも重要ですが、それ以上に部活動をやっている子ども達にしてみたら、この先生は色々なことを教えてくれるとか、教訓のようなものを教えてくれる方も必要なのではないかと思いました。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者というのはとても大切だと思いました。話を戻しますと、休日の部活動に関して、大人の事情によるところもあるかと思えます。そのスポーツを楽しむとか、競技力を伸ばしたいとか、生徒にとって一番いいのは、有

	<p>名な選手のインタビューを聞いていますと、いい指導者と巡り会えてよかったですとか、あの時私を見つけてくださったというお話が多いです。競技力向上について考えると、指導者は金の卵を発掘するような見立てなどが必要な要素だと考えております。指導者の決まっていない中学校だと、将来オリンピック選手になるような生徒がいるかもしれない。そういったところから考えると、指導者の質や資格は重要になってくると考えます。これ以上にやりたいという生徒がいて、環境的にも指導者的にも限度だといった場合、次のステップとして市としてあそこに行けばいい指導が受けられますよといったような場を提供できれば、競技力向上の面では非常にいいのかなと思います。</p>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・私どもの大学では教員免許は出せないのですが、スポーツ資格に力を入れたと考えていて、責任問題とかあるのでスポーツ資格があるといいと考えています。具体的に言うと、スポーツリーダー資格というものがあって、比較的簡単な資格なのですが、その上だと基礎資格で公認コーチを持っているのですが、各競技団体が主催して出している資格があります。その前段階までの資格は私共の大学で出していて、専門は自分で取るといった形なのですが、仕組みづくりをやる上でどの程度の資格が必要なのかははっきりしたほうがいいのかなと思う。最低限今おっしゃっていた岐阜県主催の講習は、リスク回避というところに主眼が置かれていると思うのですが、それプラス発育発達期の指導の在り方とか、コーチングや言葉がけの仕方といったところを抑えて、スポーツリーダー資格はそういったところを押さえているので、その辺の資格を基準にするといった形で出されると、養成する側も分かりやすいと思いますし、ある一定の水準を保てると思います。 ・静岡市では、市の独自の講習会を開いているが、それはなかなか大変なことだと思うので、うまく若い力を使っただけだとありがたいですし、また例えば教員のセカンドキャリアや、消防士の方が私共の大学では多いので、消防士の方のセカンドキャリアとか余暇の活用をしたりして、ある程度の基準を設けていただくと大変ありがたいです。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・中京学院大学さんの方でも卓球教室などを行っていただいておりますが、酒井先生が言われたような教育体制がありましたらお答えいただきたいです。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・山口市では、学校部活と地域総合スポーツとの連携で現在やっている方向は各種目の指導者は、コーチ1を取得することを推奨しています。それを持っている地域スポーツの指導者が地域の子に指導をします。その時に、今山口市では平日の部活動をやっている学校が3校しかありません。3校のうち1校を拠点として山口市のバスに乗って集まり、指導を受けるという活動を行っています。土日に関しては、土日どちらか1日のうちの3時間という規定で、そこには各地域から来ていただいても結構ですが、送り迎えはできないので、各家庭で責任をもってきてもらうという形をとっています。 ・先ほどから、指導者がいないということが問題としてあるのであれば、次の方策として、地元でやっていただける指導者を探しながら、恵那市で言えば北と南に分かれているので、どこか拠点校を作り、子ども達を集めて指導をするということは考えられるのかなと思います。その中で子ども達を集めてくるバスや交通費、保険などの問題が出てくると思うが、そこに補助金をあてがっていけば、子ども達に十分といえるかはわかりませんが、活動の場を提供できると思います。

	<ul style="list-style-type: none"> ・わたしも8年前は中学校の教員をやっていたので、部活動をやってきたので、教員のそういった活動を抑えるのであれば、誰かがその時間を補うしかない。そうすると中学校同士が練習試合するとき顧問同士が話をし、課外活動願いを出して、校長先生に印鑑をもらって許可をもらっていたのが難しくなっているのであれば、そういったことをひっくめて恵那市の教育委員会の北と南で、顧問の先生でうまく連携をとっていけば実行は可能だと思います。今までは顧問の先生だけでやっていたところを、行政でシステムを作って動けば可能だと思います。施設を無料開放して使えるようにすれば、なおさらできると思います。あとはそこにつく人に誰をあてがうのかだと思うので、指導者を地元で探すだけではなくて、そこにいないのであれば、少しでも近くに拠点を作って活動をできるような仕組みを作ることが重要なかなと思います。その中で中京学院大学は学生の派遣を地域総合型スポーツクラブに行っていますので、派遣も可能です。実際1年間やってみてどれくらい派遣ができるのか見えてきましたので、そこをうまく使っていただければと思います。中京学院大学では、スポーツ学生がメインになるので、次年度からスポーツの授業の中に救急救命の資格を取れるような授業をカリキュラムの中に入れました。それをやる中で安心して、子どもの救急手当に対応できるような活動を組んでいくことをやっていますので、安心して安全なということが重要なかなと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重なご意見ありがとうございました。これを生かして、子どもたちの部活のお手伝いをどこかでしていただけたらと思います。事務局から何かありますでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・中京学院大学は近くにあり、専門的なスポーツをやっている方が多いので、そういった方をうまく活用したいです。コンビニ等でバイトするよりも地域クラブに入ってもらって、指導をしていただいた方が学生にとっても非常にタメになると思いますので、連携を深めて進めていきたいです。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどの質問で、休日に長期の休みは含まれるのかという質問をしましたが、それについてはいかがでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・長期の休みについて言いますと、職員の勤務日と勤務時間に行う場合は、部活動ということで実施することを想定しております。そこでも地域クラブの指導者が来て指導していただけるということであれば、先ほどからお話が上がっておりますが、全く専門性のない職員もいますので、そういった方々をお願いをすることができるようになっていけばいいなと思います。現在としては、週休日、土日祝日を想定しております。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な意見をいただきましたので、もう一度精査していただいて、いい方向に進んでいけると良いと思いますので、よろしくお願いします。
(4) 報告	
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・議題2まで終わりましたので、4. 報告の説明をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・報告1「オリンピックによるスケート教室及びトークショーの開催について」説明
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・私も村上佳菜子さんのトークショーを拝聴しましたが、色々な苦勞があつてここまで辿りついたとおっしゃっていましたし、実際スケート教室も拝見しましたけれど、子ども達が楽しそうにしておりましたし、またスケートをしてくれるんじゃないかと感想を持ちました。 ・続きまして、報告2について説明をお願いします。

事務局	・報告2「市内在住スポーツ選手の活躍について」説明
会長	・恵那市からこういった選手も出ているのだなと感心しました。 ・続きまして、報告3について説明をお願いします。
事務局	・報告3「公共施設予約システムの導入について」の説明
会長	・利用者の方々とにかく周知をしていただいて、なるべくごたごたしないような形でやっていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。
委員	・市民対象と市民以外の方という形で差を付けたり、あるいは、まきがね公園であるのですけれども、ある特定の団体のごそと予約をして、それ以外の方ができないというケースがあって、まきがね公園の体育館の事務所では、これ以上はダメですよという制限と付けたことがありました。そういった対応というのが個別にできるようになるのかどうか、将来的にすべてネットを利用した予約システムに変えていくつもりなのか、というところも併せてお聞きしたいです。
事務局	・まず市内・市外の区別なのですが、市内の方のみ抽選に参加できる形を取ります。市外の方は抽選が終わった空き施設のみ予約できる形を取ります。これ以外につきましては市内・市外は分けておりませんが、利用状況を見ながらあまりにも市外の方が多くて、市内の方が使えないということになれば、考えないといけないと考えております。システムの中ではある程度月の予約数を制限する機能がありますので、こちらにつきましても、あまりにも乱暴な予約等が多ければ、そういったことも検討していくことを考えております。 ・予約システムを最終的にこれだけにするかどうかは、やはりパソコン・スマートフォンを利用する形になりますので、どれだけの方がこのシステムを使われて予約できるのかという状況をみながらの運用になるかなと思います。したがって当面は併用という形になると思います。9割以上の方が予約システムを利用している状況ならば、統一をした方が窓口の負担軽減にも繋がるのでいいとは思いますが、窓口のほうが多いような段階では考えていません。なるべくシステムを使っていただけるように周知をしながら、利用者が増えた段階で検討していくという形になります。
会長	・報告4「令和5年度の主な取り組みについて」事務局お願いします。
事務局	・報告4「令和5年度の主な取り組みについて」説明
委員	・5の競技力向上のオリンピックによるスプリント教室の開催についてですが、中学生陸上部を対象とした取り組みとありますが、陸上部がない学校もありますので、できるだけ幅広く声をかけていただけると助かります。
(5) その他 恵那市子ども園幼児の体力・運動能力の推移について	
副会長	・「恵那市子ども園幼児の体力・運動能力の推移について」説明
会長	・酒井先生に数値で見せていただきましたけど、子ども園の安藤先生、子ども達はいかがでしょう。
委員	・お話を聞かせていただきましたが、子ども達はずっと変わらずなんですけど、遊びの中で成長していくということがありますので、日々の生活の中では遊ぶということは変わらないですけど、ここ数年酒井先生方に教えていただいておりますので、職員の方が遊びの中に工夫をして、先ほどの説明で投げるといって項目に成果があったというお話がありましたけれども、投げるところに工夫を試みたりですか、ただやらせるだけではなくて遊びの中に取り入れていく、そういった形で職員が意識して進めさせていただいております。今の説明の中のキーワードでコロナがありましたけど、コロナで遊びの

	<p>方も変化があって気を付けないといけないところがありましたので、それでも何とか工夫して遊びを実践してきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年はいろいろな面で親子での遊びを取り組んでくださって、うちの園で言いますと年長と年中の保護者の方に集まっていたきまして、一緒に遊ぶという機会を作っていただきました。その中でも子どもの成長の中で大切なことを沢山教えていただきましたので、その辺りで保護者の方にも意識はしていただけたかなと思いますけど、私共の力及ばずの所もありますので、これからは保護者の方にも意識をしていってほしいなと思っております。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・この会を代表しまして、恵那市の公園のあり方検討委員会というものが先日行われ、私が出席させていただきました。やはり子どもが安心して遊べる公園がいいねという意見が多々ありまして、もう少し、まきがね公園が使いやすい公園にしていけたら、もっと小さい子から集まってくるのではないかと思いますので、この間第1回が行われて第4回くらいまで行われると思いますので、皆さんにご報告していきたいと思ひます。また、こんなものがあるといいねという意見がありましたらお知らせいただけたら、恵那市の公園あり方検討委員会で発表させていただきますので、よろしくお願ひします。
(6) 閉会の挨拶	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・閉会の挨拶を酒井副会長からお願いいたします。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・皆様、お疲れ様でした。コロナ禍もマスクなしの生活ができるようになってきました。100年前のスペイン風邪は大体2年間くらいでワクチンがなくても終息したようです。科学も進んでワクチンも打っているのに3年以上かかって、第8波まで来ているような状況で、人と人との往来と分かるということが全てではないということで、分からないこともまだまだあります。私はこども園に関わらせていただいているのですけれども、安藤先生におっしゃっていただきましたが、結果として良くなるのが良いことで、投げる練習だけすれば投げる力は確実に良くなるんですね。そうではなくて先生方はちょっとしたことを意識することで、子ども達もスポーツが好きなまま小学校に上がることができる環境ができていくのかなと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。お疲れ様でした。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・これにて令和4年度第2回恵那市スポーツ推進審議会を終了させていただきます。お疲れ様でした。

- 以上 -